



## 「焼津市自衛隊協力会講演会」開催

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、11月25日（土）、焼津公民館（焼津市）で開催された焼津市自衛隊協力会主催の講演会を支援した。この講演会は、会員の防衛意識の高揚と更なる自衛隊の活動理解を目的に毎年開催されているもので、これまで陸上・航空自衛隊の幹部自衛官を講師に招いていたが、今年度は海上自衛隊の幹部との要望があり、横須賀地方総監部（神奈川県横須賀市）で監察官として勤務している鈴木拓哉一等海佐の招へいが実現した。当日は、焼津市副市長をはじめ、県議会議員、市議会議員及び議員を来賓に招き、焼津市自衛隊協力会員や焼津市自衛隊家族会、自衛官募集相談員など約120人が参加し盛大に開催された。

鈴木一佐は「海へ・海に生きる仕事」と題し、海上自衛隊の魅力やアデン湾での海賊対処行動、艦長の経験談、災害派遣での様子などをわかりやすく、時にユーモアを交えながら講話を行った。終了後の質問コーナーでは、昨今の日本を取り巻く安全保障環境等に関する質問が多数あり、参加者の防衛意識の高さを感じられた。静岡地本は、今後も協力諸団体との連携を密にして防衛省・自衛隊の活動への理解を深めてもらうとともに、海岸線に面している県として海上自衛官への志願者獲得に努めていく。



## 中学生が高等工科学校の魅力を体感

自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己一等空佐）は、12月2日（土）、陸上自衛隊高等工科学校（神奈川県横須賀市）で実施された「学校説明会」に中学生とその家族を引率した。

同校は、将来陸上自衛隊において、高機能でシステム化された装備品を駆使・運用する能力を持つ自衛官を養成する学校である。今回の説明会には静岡県内から34人が参加した。

講堂での概要説明後、グループに分かれて学校内の各施設を見学した。校内には休日にも関わらずクラブ活動を行う生徒たちの姿が多く見られ、特に銃剣道という武道の練習を見た中学生は「僕も入校したら銃剣道をやってみたい」と話していた。

入校後に勉学に励むことになる教室や日々の生活を送る生徒舎を見学した際には、きれいに清掃され、かつ整理整頓された室内を見て「勉強する環境が整っている」「自分たちが居住する部屋の中もしっかり整理整頓されていて感心する」と中学生の家族が話す場面も見られた。

その後、講堂において質疑・応答の時間が設けられ、ステージ上に現役の生徒3人が登壇して参加者からの質問に一つ一つ回答していた。

説明会終了後、保護者は「実際に学校や環境を見て理解が深まった。息子も高等工科学校を目指して頑張ってほしい」と一緒に参加した我が子に期待を寄せていた。

静岡地本は、今後も各学校のオープンキャンパスなどの機会を活用して多くの学生やその家族に自衛隊の教育の場を実際に見てもらい、一人でも多くの志望者獲得のため今後も募集活動に全力で取り組んでいく。

